



ニッサン セレナ

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0577

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラツィオ・アルカンターラセクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輻への損傷、車輻の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取り付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

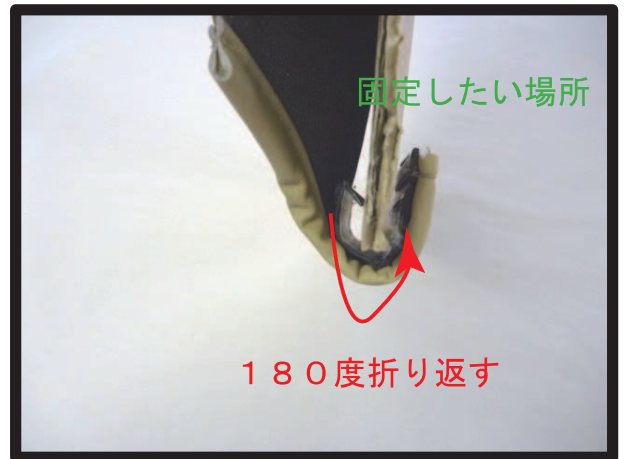
〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

1 列目座面



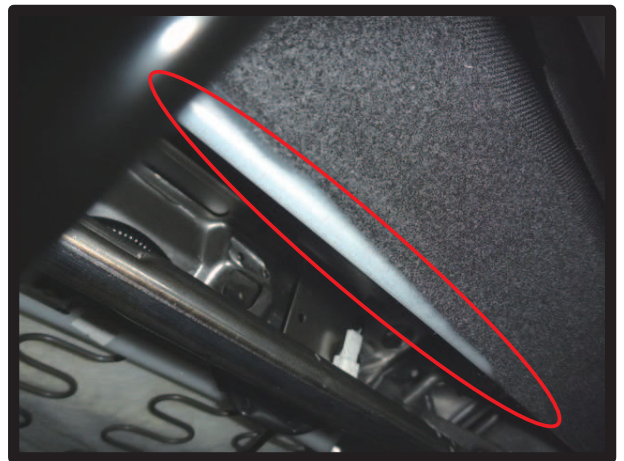
①シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



④プラフックは、生地と共に180度折り返し、固定したい場所に下から上へ引っ掛けるようにします。
※図は、固定したい場所を仮に表しています。



②カバー前側にプラフックが付いています。



⑤シートの前側から底面を見ると、図のようにシート本体の生地がプラフックで固定されています。



③ここからは、分かりやすいように断面図で説明します。



⑥⑤で確認したシート本体に固定されているプラフックの上から、カバーのプラフックを固定します。



⑦ プラフックを正しく固定すると、このようになります。



⑩ カバーの側面をシートのラインに合わせてみます。



⑧ シートのラインに合うように、カバーの位置を合わせ、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑪ シートのプラスチック部に、カバーの生地を入れ込みます。



⑨ 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、生地に付いているマジックテープでシートに直接固定します。



⑫ 図の位置の生地は、シートの側面から底面にかけて、入れ込みます。

1列目背もたれ

※アームレストを取り外す必要があります。



⑬正しく側面に生地を入れ込むと、このようになります。



①カバー装着前にアームレストを取り外します。
ヘラ等を使用し、プラスチックキャップを取り外します。



⑭内側面にも同様に生地を入れ込みます。



②ラチェット等を使用し、ボルトを外します。

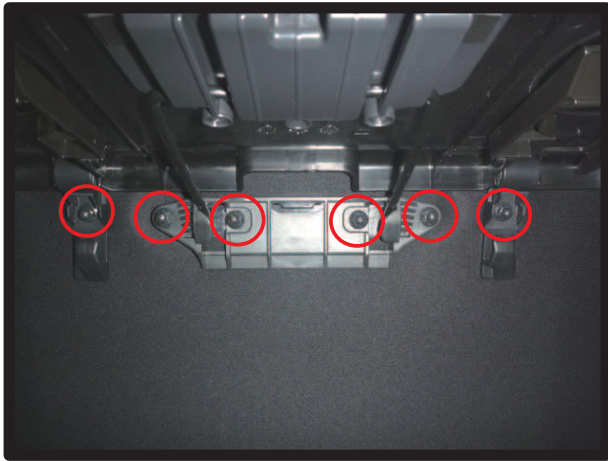


⑮カバーのラインを整え、1列目運転席側座面の完成です。
助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



③ボルトを外すと、図のようにアームレストが取り外せます。

※パーソナルテーブル装着車は、カバー装着前に取り外す必要があります。



④背もたれ背面のパーソナルテーブルを引き起こすと、図のようにナットで固定されている事が分かります。



⑦カバーを半分ほど裏返した状態でシートにかぶせます。この際、肩口までしっかり入れ込むようにして下さい。



⑤ラチェット等を使用し、全てのナットを外します。



⑧シートのラインに合わせ、カバーをかぶせます。



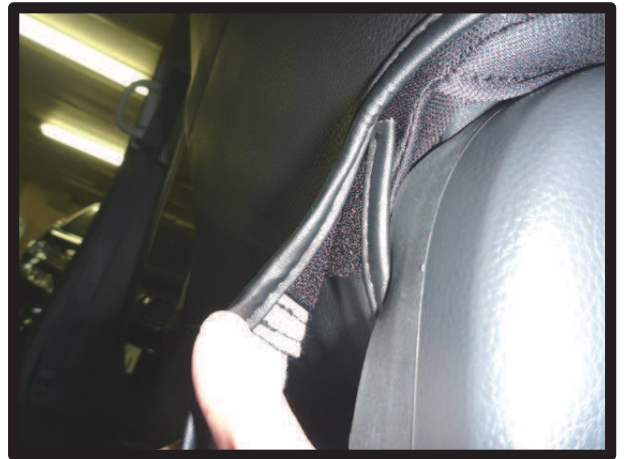
⑥ナットを外すと図のように、手前に引き抜く事でパーソナルテーブルが取り外せます。



⑨ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



⑩背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑬⑪で引き出した生地とカバー背面の生地をマジックテープで固定します。



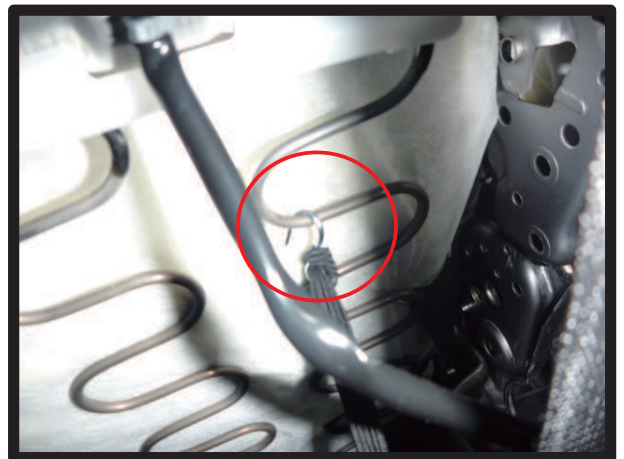
⑪入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



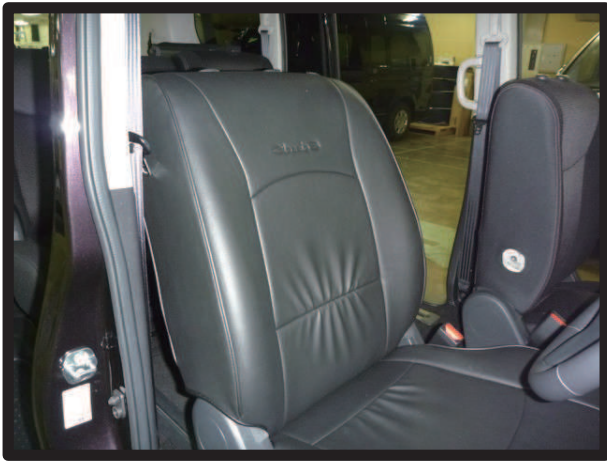
⑭カバーの背面に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



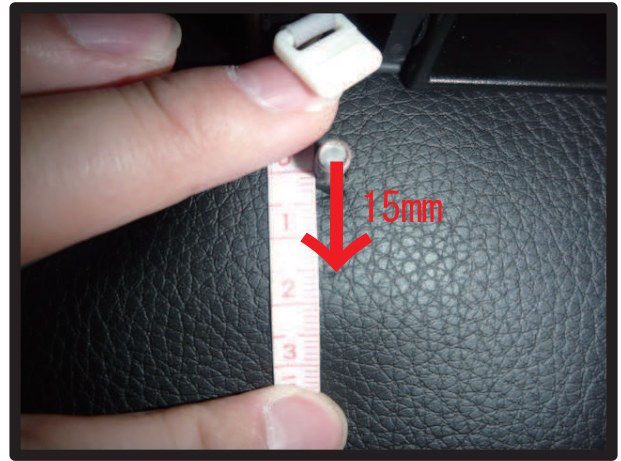
⑫図の①～③の順番で生地をシートに馴染ませ、カバーのシワを無くしていきます。



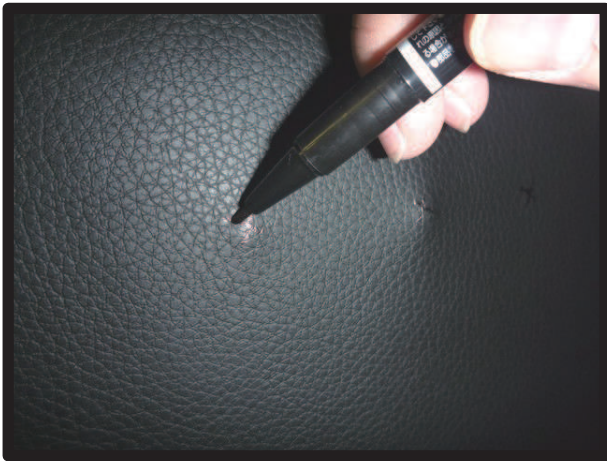
⑮S字フックは、シート裏の金属部分に引っ掛け固定します。



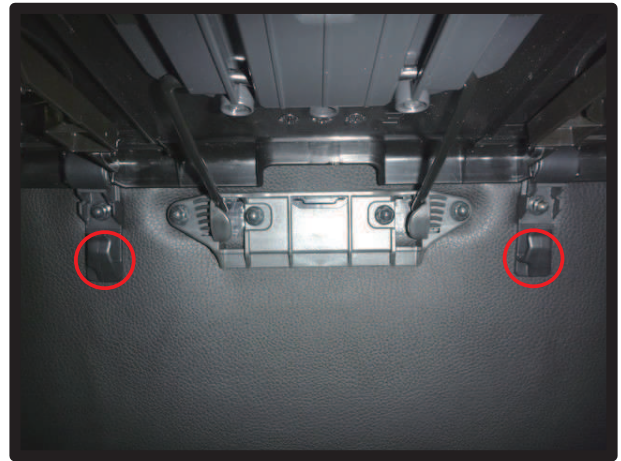
⑯カバーのラインを整え、1列目運転席側背もれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑰⑱の○位置は、ネジ部から15mm下になるようにして下さい。



⑰4ページ⑥でパーソナルテーブルを取り外し、カバーを装着後、パーソナルテーブル取り付け位置にカバーの上から目印を付けます。(計6ヶ所)



⑳取り外した逆の手順で、パーソナルテーブルを元に戻します。
⑰で開けた穴は、○部分の裏にある突起物の固定に必要な穴です。



⑱図のように、全ての目印位置にハサミ等を使用し、ネジ部がカバーから取り出せる大きさの穴を開けます。外側の2ヶ所の下側(図の○位置)にも同じく穴を開けます。



㉑パーソナルテーブルを正しく取り付けると、このようになります。

2列目運転席側座面



①シートのラインに合わせて、カバーを前側からかぶせます。



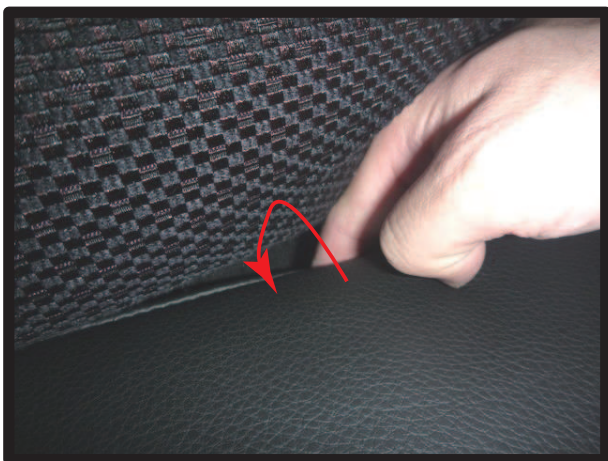
④カバーの加工穴からシート跳ね上げ用ストラップを取り出します。



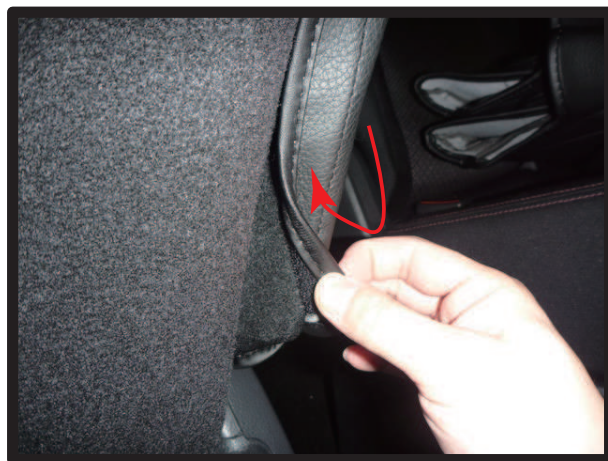
②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤シートを跳ね上げ、カバーをマジックテープで直接シートに固定します。



③入れ込んだ生地をシート裏側へ巻き込むようにし、マジックテープで直接シートに固定します。



⑥内側面の生地は、シートに巻き付けるように固定します。



⑦シートの付け根位置の生地を、図のように隙間に入れ込みます。



⑧カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。

2列目運転席側背もたれ

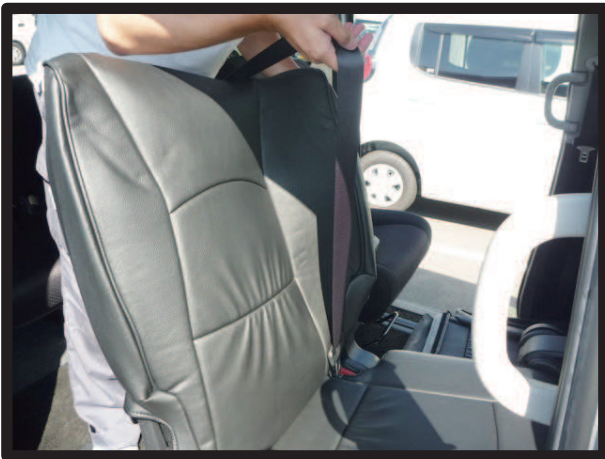
※1 写真は別車種のため、本来この車種にはシートベルトはありません。



①始めに背もたれカバー背面のファスナーを開きます。
※1列目背もたれと同様パーソナルテーブルを外してください。



④シートのラインに合わせて、カバーを引き下げます。



②ラインを合わせながらカバーをシート全体にかぶせます。※1



⑤カバー背面のファスナーを、生地を内へ寄せるようにしながら閉じます。



③シート肩口にあるストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



⑥シート肩口にあるプラスチックの台座に生地を入れ込みます。※1



⑦図のように台座の隙間には、台座を固定するツメがある為、生地が入れ込みにくくなっています。生地は台座の四隅に入れ込める程度になります。

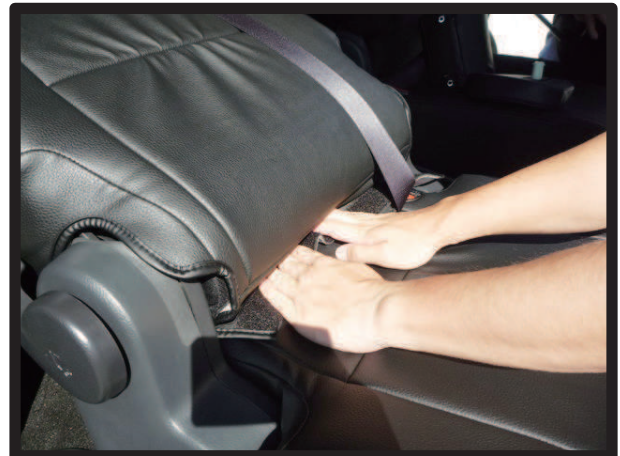
※1



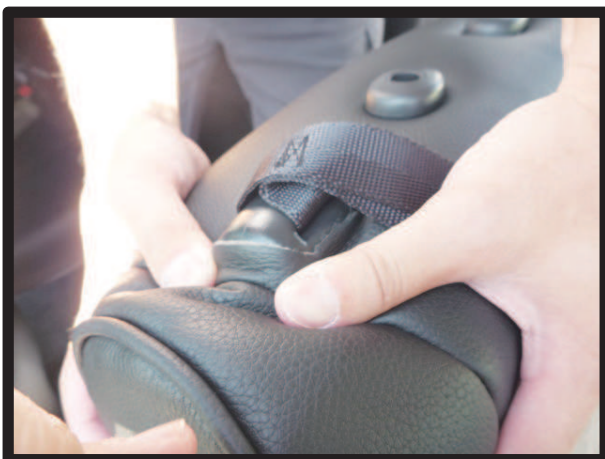
⑩肩口のストラップは、図のようにカバーの加工穴を通し、シート本体のストラップ収納部に収納します。



⑧ヘッドレストの台座を1列目と同様に取り出します。



⑪背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑨シート肩口のストラップの台座を、ヘッドレストの台座と同様に取り出します。



⑫入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑬ 10ページ⑫で引き出した生地を、カバー背面の生地とマジックテープで固定します。



⑭ カバーのラインを整え、1列目と同様にパーソナルテーブル用の穴を空け、2列目運転席側背もたれの完成です。

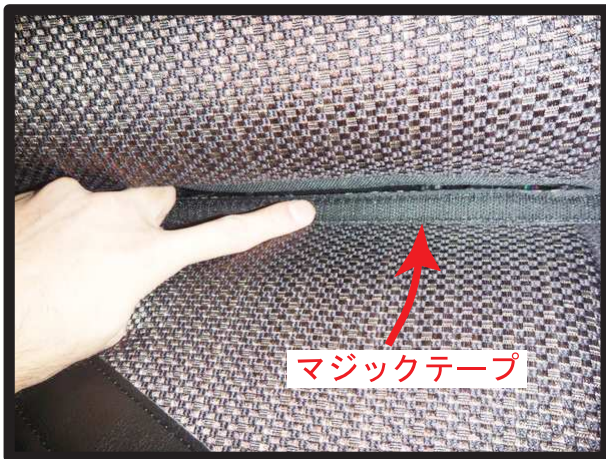


⑮ 背もたれ背面は、このようになります。



⑯ 背もたれと座面の付け根に生地を入れ込みます。

2列目助手席側座面



①背もたれと座面の隙間に純正の生地がマジックテープで固定されているため、生地を奥側に持っていきのように外します。外した生地はそのまま奥に垂らしておきます。



④①で純正生地を外したマジックテープ箇所に、カバーに付いているマジックテープを固定します。



②カバーを裏返した状態でシートのラインを合わせます。この際カバーの加工穴からシートベルトバックルを取り出しておきます。※シートを外に出し作業を行ってください。



⑤カバー両側面の生地をプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



③ラインを合わせながらカバーをシート全体にかぶせます。



⑥カバー前側に付いているプラフックをプラスチックカバーとシートの隙間に入れ込みシートのラインを整え2列目助手席側座面の完成です。

2列目助手席側背もたれ



① 1列目の背もたれ装着時と同様にアームレストを外した後、シートのラインに合わせて、カバーを肩口までしっかりかぶせます。※シートを外に出し作業を行ってください。



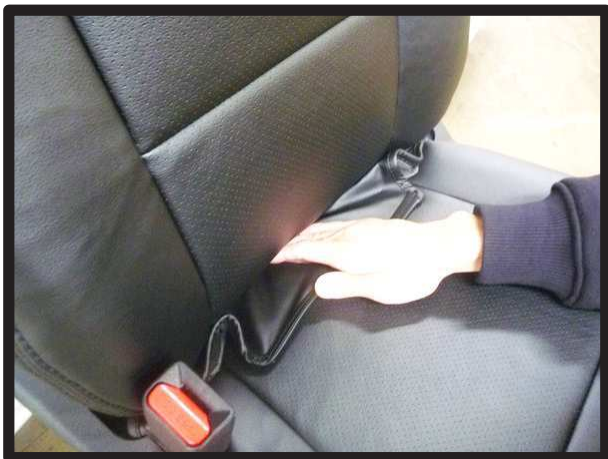
④ 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



② カバーの加工穴から生地を使い、ヘッドレストの台座を取り出します。



⑤ カバー背面側の上と左右に付いているプラフックを周りの生地ごとプラスチックカバーとシートの隙間に入れ込みます。



③ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。※生地にプラフックが付いているため背もたれと座面に傷がつかないように注意してください。



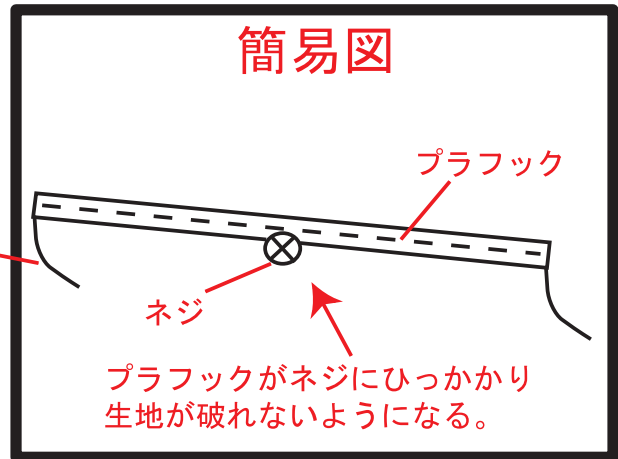
⑥ シート背面下側にある3箇所のネジの内、中央のネジだけをドライバーを使用して外します。



⑦ 13ページ④で引き出した生地が付いているプラフックを、13ページ⑥で外したネジ穴の上側にくるようにして、生地の上からネジを差し込み固定します。



⑧ カバーのラインを整え、2列目助手席側背もたれの完成です。



※この時、6ページ⑰と同様に、目印を付けてからネジを差し込むと作業が行いやすいです。

3列目座面



①シートのラインに合わせて、カバーを前側からかぶせます。



④シートを跳ね上げ、カバーの加工穴からシート吊り下げ用フックを取り出します。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤シートを跳ね上げた状態で、内側側面の生地をシート後ろ側へマジックテープで直接固定します。



③外側面の生地をマジックテープでシートに直接固定します。



⑥②で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、シート底面を覆う生地とマジックテープで固定します。



⑦15ページ⑥の生地を正しく固定すると、このようになります。



⑧カバー後ろ側は、このようになります。図の○位置の加工穴に、シート吊り下げ用フックを収納します。



⑨カバーのラインを整え、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

3列目背もたれ



① 3列目背もたれは、1列目と同様にカバーをかぶせ、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



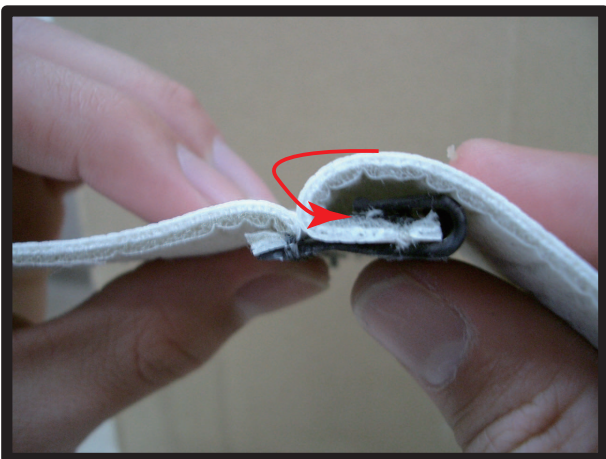
④ 正しく固定すると、このようになります。



② 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、背面の生地とプラフックで固定します。

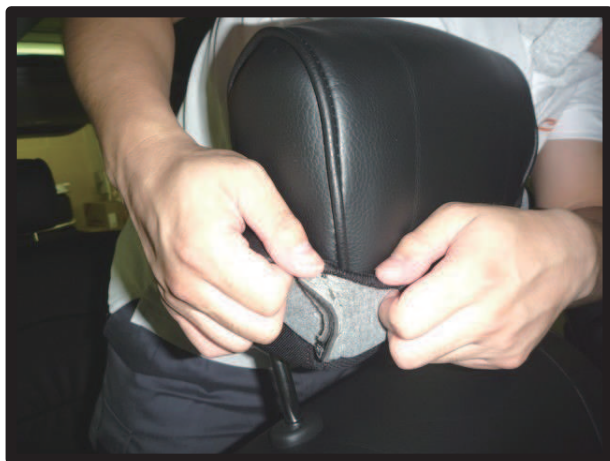


⑤ カバーのラインを整え、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

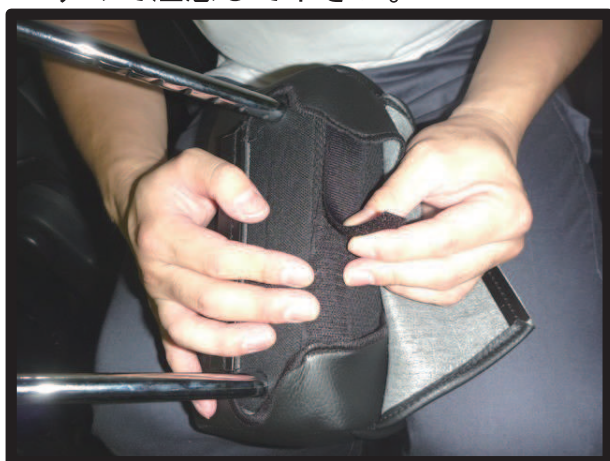


③ 図はプラフック部の断面図です。右側の平らな形状の方を、生地ごと巻き込みながら、カギ状の方に引っ掛け固定します。

ヘッドレスト



- ① 1列目ヘッドレストにカバーを半分ほど裏返した状態でかぶせます。カギ状のプラスチックパーツが付いている方が前側になります。
※カバーをかぶせる際には、カバーに付いているマジックテープに力が掛かり過ぎると、破れる恐れがありますので注意して下さい。



- ②ヘッドレストを台座から外し、カバーに付いているマジックテープとプラフックで固定します。



- ③ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目と2列目助手席側ヘッドレスの完成です。



- ④2列目運転席側ヘッドレストも同様に取り付けます。



- ⑤3列目ヘッドレストは、平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



- ⑥1、2列目と同様にカバーを固定し3列目ヘッドレストの完成です。

1・2列目アームレスト



①3ページ①で取り外したアームレストにカバーをかぶせます。カバーを半分ほど裏返した状態で先端までしっかり入れ込んで下さい。



④カバーのラインを整え、1列目アームレストの完成です。助手席側と2列目助手席側のアームレストも同様に取り付けます。



②取り外した逆の手順でアームレストを元に戻します。



③カバーの生地を内に寄せながら、ファスナーを閉じます。



< 1 列目完成图

2 列目完成图①>



< 2 列目完成图②



3 列目完成图>





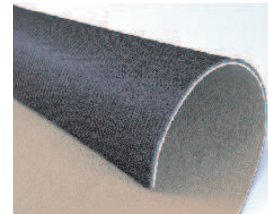
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができて変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまう。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



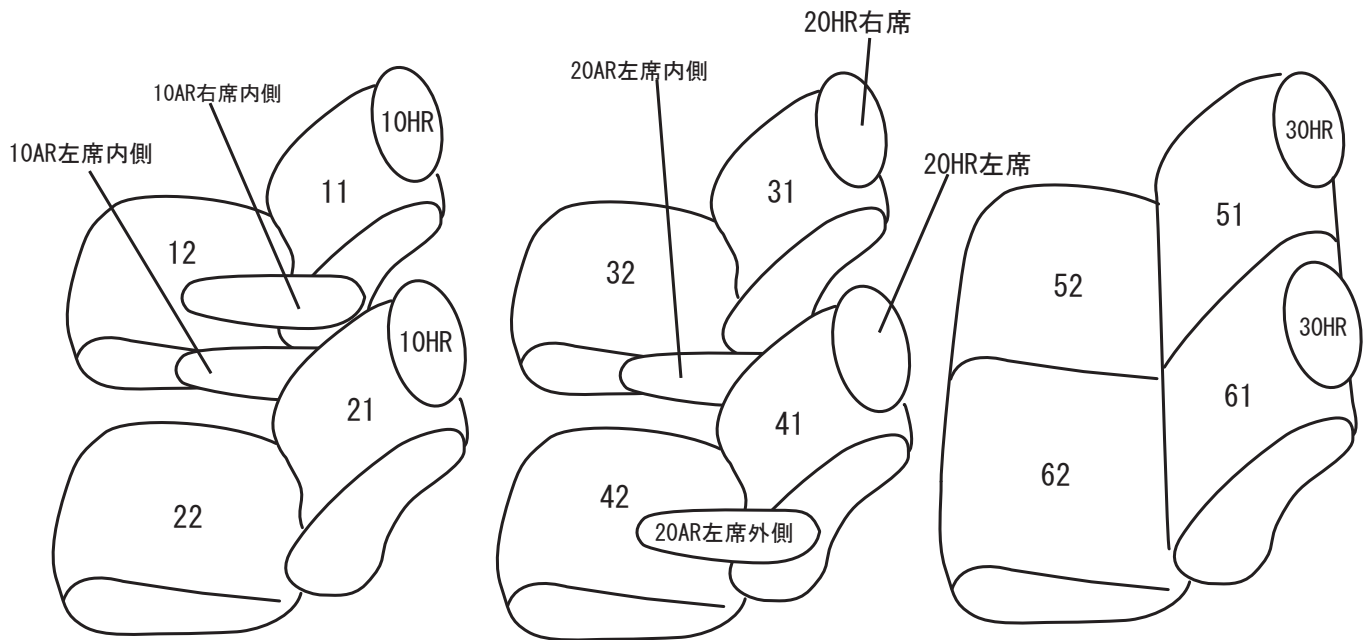
PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

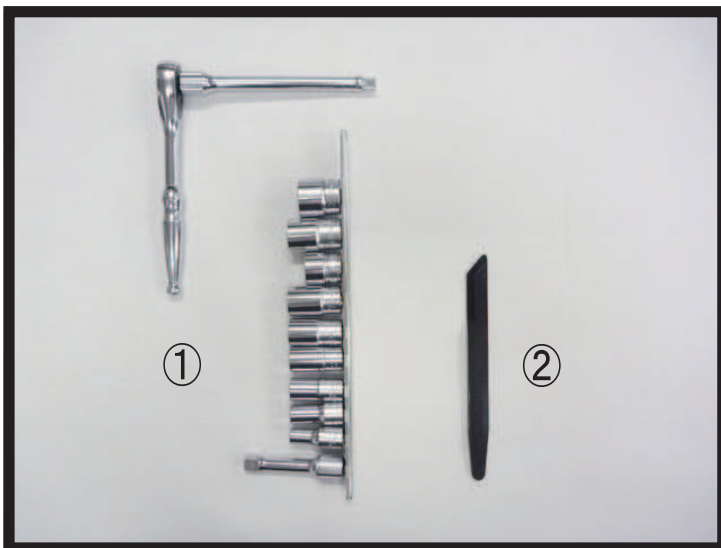
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
 - ・アームレスト用：14mm
 - ・パーソナルテーブル用：8mm
- ② ヘラ